

あとがき

「臨床眼科」9月号の表紙は角膜神経腫の生体共焦点顕微鏡写真です。この写真には生きた細胞の微小な構造がはっきりと写っており、門外漢ではありますが、先端的な撮影機器と、投稿者である北大の菅野杏先生の匠の技術が組み合わさった力作であることは十分に伝わってきます。また、角膜神経腫自体なじみのない病名ですが、写真からは腫瘍組織がかなり分化しているのが見てとれ、そのおかげで一度見たら二度と忘れない特徴的な病理像を呈しています。

「今月の話題」では、国立成育医療研究センターの吉田朋世先生による「小児におけるデジタルデバイスの影響」を掲載しています。この分野は、特に子供を持つ親の関心が強く、外来中に患者からアドバイスを求められることも多いのではないのでしょうか。そのうえにネット上でさまざまな情報が錯綜しているので、専門家が簡潔にレビューしてくれるのはとてもありがたいことです。内容的には、デジタルデバイス使用により生じうる小児特有の問題点や患者の生活に関するアドバイスなどを、挿絵や表を使ってすっきりとまとめてあります。この分野が不得意な先生方でもストレスなく読めるので、一読をお勧めします。「Clinical Challenge」では、日大の原雄将先生が「円錐角膜の進行による視力障害」を寄稿されており、読み応えがあります。

また、本号の大半を占める日本臨床眼科学会講演集では、眼炎症性疾患、神経眼科疾患、角膜疾患、網膜硝子体疾患、緑内障、斜視など幅広い疾患がカバーされています。特に、東京医大の木下悠十先生らの「梅毒性ぶどう膜炎 36 症例の臨床的検討」では、最近増えつつあり、かつ治療法を誤ると大きな後遺症を残しかねない梅毒性ぶどう膜炎の特徴がわかりやすくまとめられており、さらに複数の症例提示もあるので、疾患を体系的に、かつ臨場感をもって学べるのでとてもありがたいです。

以上、読書の秋にはぴったりの1冊ですので、私も土曜午前などに時間をとって気になったところをピックアップして、雨の日にカフェでもしながらゆっくり読もうと思っています。皆さまもよかったらどうぞ！
(西口康二)

編集顧問	増田寛次郎	大野重昭	玉井 信	三宅養三	西田輝夫	水流忠彦	根木 昭
	寺崎浩子	下村嘉一	井上幸次	鈴木康之			
編集委員	坂本泰二	稲谷 大	堀 裕一	西口康二	黒坂大次郎	蕪城俊克	

臨床眼科 (第78巻 第9号)

2024年9月15日発行 (毎月1回15日発行)

定価 3,190 円 (本体 2,900 円+税 10%)

(2024 年年間購読料 (増刊号を含む 13 冊, 税込, 送料弊社負担))
冊子版 47,520 円
電子版 (個人) 44,154 円
冊子+電子版 (個人) 49,654 円

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売・PR 部直通 (03) 3817-5659

印刷所 三報社印刷(株)

広告取扱 (株) 文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

別刷取扱 (株) 医学書院販売・PR 部 電話 (03) 3817-5696

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2024, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。
- ・ 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・ **JCOPY** < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, 出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。
- ・ 「臨床眼科」は株式会社医学書院の登録商標です。

担当 山本・鶴淵・小路